

第99回 科学技術部会	資料2-2
平成29年2月27日	

平成29年度 厚生労働科学研究費補助金二次公募課題(案)一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業	ICTを活用した診療情報の体系的な把握・分析に基づく、疾患との新たな関連性を発見するための方法論に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 診療情報(主訴や症状、検査データ)の網羅的・体系的な把握・分析によって、疾患との新たな関連性を見出すこと。 診療に役立つ情報を創出するための手法を開発すること。 	10,000	1	3
	電子カルテと連携する音声認識システムのニーズ把握及び音声認識システムに対応する医療用語辞書の編纂に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関等における音声認識システムのニーズ把握(専門診療分野、診療場面等) ニーズの高い分野において求められる医療用語辞書の具体的な内容 電子カルテの音声認識システムに用いる、医療用語に特化した辞書(原則日本語で、略語を含む)の編集なお、電子カルテと連携する音声認識システム自体を作成するものではない。 	10,000	1	3
	診療現場の実態に即した医療ビッグデータ(NDB等)の解析の精度向上及び高速化を可能にするための人材育成プログラムの開発と検証に関する研究	NDB等医療ビッグデータの活用を進めていくためにNDB等のデータ解析に精通し、より質の高い解析を実現するための継続的な人材育成プログラムの開発と実施体制の構築。なお、開発したプログラムは、試行的に実施され、その効果が検証されたものであること。	30,000	1	2
	人工知能を活用した医薬品の副作用症例報告の評価に関する研究	代表的な副作用を対象として、人工知能を活用した医薬品の副作用症例報告の評価支援の基盤となる、機械学習用辞書の作成、機械学習用データの整備及び特徴量の抽出設計を行う。また、これらを利用して、人工知能により試行的に副作用症例報告の評価結果を示す。	20,000	1	3
	医薬品の適正使用推進のための人工知能を用いた医療情報データベースの利活用に関する研究	医療情報データベースの情報から、安全性に関するシグナルを検出する等、医薬品の小児への適正使用のための情報を抽出・分析できる人工知能を利用した解析手法の開発。	10,000	1	3
			80,000	5	
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
倫理的法的社会的課題研究事業	ゲノム情報とゲノム以外の医療情報の利活用に係る国内外の法制度と運用に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 海外(欧米等数カ国以上を含む)におけるゲノム情報とゲノム以外の医療情報の利活用に係る国際法制と実際の運用について調査し、海外における情報の取扱いを明確にする。 海外の状況と国内における医療情報の取扱いに係る制度を踏まえ、ゲノム医療の推進のために必要な社会環境整備に係る具体的な施策を提案する。 	5,000	1	2
			5,000	1	
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業	【再公募課題】 国際保健政策人材増強のための国内環境整備施策に関する研究	本研究では、国内の大学や研究機関に対し、主に国際的組織に人材を派遣している大学や研究機関のネットワークなどを活用し、人事採用における国際的組織経験者の評価基準や採用実績などの現状と採用時における障壁を調査する。また、企業においても、国際的組織への人材派遣実績や国際的組織との協力関係にある企業へのヒアリングや調査などを行う。さらに、これら調査等により浮かび上がった障壁・課題等の解消・解決策を検討する。本研究を通じて、国内の大学、研究機関および企業の雇用や人事に関する現状や課題が明らかにされ、「グローバルヘルス人材戦略センター」が邦人を効率的に国際的組織に送出するための一助となることにより、相乗的に国際保健政策人材を増強する。	5,000	1	2
			5,000	1	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代成育総合研究事業)	子育て世代包括支援センターの全国展開に向けた体制構築のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの質の確保や向上のために、既にセンターを設置・運営している市町村における実証的な検討により、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)のPDCAサイクルによる事業評価システムを構築する。具体的には、評価指標の設定を含む事業計画の作成方法、事業結果の評価方法、事業評価に基づく事業の改善方法等を提案する。 ・上記の事業評価システムを踏まえ、「子育て世代包括支援センター業務ガイドライン(以下「業務ガイドライン」という。)」の改定案を作成するとともに、事業評価システムの好事例集を作成する。 ・センターの設置・運営に必要な人員を養成するため、業務ガイドラインに沿った研修プログラムを作成する。研修プログラムは、妊産婦等の継続的な把握や支援等のセンターの基本業務に加え、上記の事業評価に係る業務を含むものとする。なお、研修プログラムの作成に当たっては、現行の業務ガイドラインの作成時にセンター設置市町村から収集した、既存の研修プログラムを参考にするとともに、科学的根拠に基づいて作成するものとする。 	10,000	1	3

10,000 1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん対策推進総合研究事業	がんの罹患リスクに基づく予防法の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・がん罹患リスクについての正しい知見の検証及び個人の行動や社会環境の改善を目指したがん予防法の開発 ・がん再発予防に関するエビデンスの構築 	5,000～20,000	1～2	1～3
	がん研究10か年戦略の進捗評価に関する研究	がん研究10か年戦略の進捗を評価し、今後重点的に推進すべき研究領域や研究課題、科学研究費補助金の効率的な運用等について政策提言を行う。	15,000	1	1

- -

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	健康増進施設における標準的な運動指導プログラムの開発のための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進施設の利用状況や提供されている運動プログラム等の現状把握 ・利用者の個々の健康状態に合わせた、適切な運動指導プログラムの開発とその効果検証 ・上記を適える上で必要な、人的・設備要件の再検証 	3,000～5,000	1	3
	【再公募課題】 新たな歯科のスクリーニング手法の開発及び歯科保健サービスが歯の健康づくりに与える影響等に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の歯科医師が口腔内の検査を行うことによる健診手法に代わる、検体を活用した簡易なスクリーニング手法について、精度、運用方法等を示したうえで提案 ・国民の歯科保健医療に関する知識や歯科保健医療サービスの経験及び提供体制等が口腔の疾病イベントや口腔の状態に与える影響について知見の提示 ・歯科のスクリーニング等の提供体制(場所、時間、内容、情報発信、指導、治療)等が検診受診率及び精密検査受診率等に与える影響について国内外の状況の調査・分析 	5,000～7,000	1	2

- -

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
難治性疾患政策研究事業	【再公募課題】 領域別基盤研究分野(IgG4関連疾患)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成または改定。 ・関連学会、非専門医、患者及び国民への普及・啓発。 ・患者の療養生活環境整備やQOL向上に資する成果。 ・早期診断や適切な施設での診療等を目指した、診療提供体制の構築。 ・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・指定難病データベース(平成29年度中に稼働開始予定)等の各種データベースへの協力。 ・国際展開も視野に入れた研究開発体制の推進。 ・主要学会を含めた関連学会との連携体制の構築。 ・難治性疾患実用化研究事業等、当該疾病関連研究との連携・とりまとめ。 	5,000～ 25,000	1	3

— 1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
長寿科学政策研究事業	【再公募課題】 ICTを活用した介護保険施設等の情報把握を行うための安価なソフトウェア等の開発に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の要件を満たすソフトウェア等の作成 <ul style="list-style-type: none"> — 介護施設から稼働状況等を容易に更新可能 — 平時に全国の介護施設の稼働状況等の簡易なデータを、プラットフォームを問わず地理情報システム等を用いて視覚的に閲覧可能 — 継続的な維持管理が安価で可能 — 特定の技術やネットワーク基盤等に依存しない ・平時利用はデバイス・デバイスドを考慮し、誰でも利用可能なユーザーインターフェイス及びユーザーエクスペリエンスの提案 ・有事に被災現場等からデバイスを問わずに被災状況等を更新でき、広域な災害でも対応可能なモデルの構築 ・収集されたデータの利活用を促進するための方策の提案 	5,000～ 10,000	1～2	2

— —

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
認知症政策研究事業	一億総活躍社会の実現に向けた認知症の予防、リハビリテーションの効果的手法を確立するための研究	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を予防し、残存する生活機能を維持し、住み慣れた地域での生活や就労を継続可能とし、結果的に介護者負担の軽減に資するような効果的な手法の開発を目標とした以下のような成果を得る。 ・様々な認知症予防法や認知症リハビリテーションを科学的に検証した論文のシステムティックレビューによる、各予防法・リハビリテーションのエビデンスレベルの評価 ・自治体等も含め広範な地域での取組を推進するための認知症予防や認知症リハビリテーションに関する効果的な手法 ・上記の質を担保するようなエビデンスや指標を示す資料 	10,000	1	3
	若年性認知症の人の実態調査や大都市における認知症の実態調査に関する研究	若年性認知症の有病率や実態調査、大都市部の認知症有病率、またそれに必要な地域資源の一覧などの調査を行い、社会実態に即した適時・適切な医療・介護の支援などの提供に供する政策等を反映できるよう現状把握、評価指標等の策定を行う。	10,000	1	3

20,000 2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	サーベイランスの機能強化に資する病原体の適切な管理と検査体制に関する研究	・特定一種病原体等の保管や不活化法などに関するガイドラインを策定し、我が国において感染症サーベイランスを担う国立感染症研究所や地方衛生研究所等の機能強化をはかる。 ・BSL-4施設など病原体等を取り扱う施設に係る規制・基準などについて、海外の状況を踏まえた報告書を作成する。	4,000	1	3

4,000 1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
エイズ対策政策研究事業	個別施策層に対する有効なHIV検査提供方法の開発と介入に関する研究	・個別施策層に対し、新たな検査受検拡大のための有効な方法の開発とその実施のための有効な情報提供の方法の検討 ・検査陽性者の社会的背景などの疫学的情報の収集と解析 ・現行指針の施策の下に行われた個別施策層へのアプローチでは不十分であった対象者への有効な介入方法の検討	15,000～20,000	1～2	1～3
	エイズ動向解析に関する研究	・国内外の流行状況などを反映した我が国における推定患者数などの継続的な動向把握とそのため必要な疫学データのパラメータの設定とその収集方法の検討 ・わが国のエイズ施策の総合的な評価を行うための1つの指標としてのケアカスケード算出に必要なHIV感染者、エイズ患者の疫学情報と連携したHIV感染者推定患者数の継続的な算出。 ・新規エイズ患者減少のために必要な施策のための、新規エイズ患者の社会的背景、疫学情報、分子疫学的情報等の収集とその解析及びその解析を踏まえた提言。	5,000～10,000	2～3	1～3
	薬害エイズ被害者の合併病態である血友病の医療ニーズに関する研究	NDBなどのビックデータをもとにしたHIV感染症、血友病患者の合併症を含む医療状況の把握と、必要な医療ニーズの同定	10,000～15,000	1～2	1～3
	HIV感染症に関する一般向け知識普及を推進するための研究	・一般向け普及開発に必要な定期的な情報提供を含む普及プログラムの開発と実践 ・その啓発プログラムの評価方法の開発と評価 ・HIV感染症に関する国民の知識の状況の調査とその分析	5,000～10,000	1～2	1～3

- -

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
肝炎等克服政策研究事業	職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	・職域等での肝炎ウイルス検査導入の障壁となる課題を分析した資料 ・職域等における受検率向上に資する手法の開発とその効果を示す資料 ・職域等に、自治体を実施する肝炎ウイルス検査を導入する方法の具体策 ・肝炎ウイルス陽性者のフォローアップ実施の障壁となる課題を分析した資料 ・それぞれの地域の実情に対応した陽性者フォローアップシステムの開発と、その導入・運用における手法の開発と効果検証を行った資料	45,000	1	3

45,000 1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業	【再公募課題】 地域の医療従事者確保対策に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 医療計画における医療従事者確保の基礎となるデータの提供 既存の医療従事者確保策の成果や、特に有効だった事例の収集及び分析 今後の医療従事者確保策においてPDCAサイクルを推進するための指標作成 専門医プログラム等のキャリア支援、育児等を含む就業支援等の検証 地域医療構想等を勘案した新たな医師確保策・医師配置策の検討 	5,000	1	3
	【再公募課題】 災害時小児・周産期医療体制の構築と認知向上についての研究	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療情報システムEMISがDMAT本部や災害医療コーディネーターに有効に活用されていることを受け、災害時小児周産期リエゾンにおいても、以下を実施する。 独自に発展した小児や周産期医療のネットワークを有効に活用して患者や医療者の采配が出来るような情報システム基盤の作成 平成28年度の研修事業の実施を踏まえた内容の改定等、今後の研修への提案 	3,000	1	3

8,000 2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	地域における包括的な輸血管理体制構築に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> 離島、僻地等遠隔地域の医療施設及び小規模医療施設(在宅を含む)における輸血医療(検査、運搬、保管等を含む)に関する実態把握。 地域の病診連携を活かし、より効率的かつ適正な輸血医療を目指した、新たな輸血管理体制構築に向けての具体的な提言や提案。 	4,500	1	3

4,500 1